

第9期

運用報告書(全体版)

中国人民元ソブリンオープン (愛称 むげん 夢元)

【2023年2月10日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「中国人民元ソブリンオープン（愛称 むげん 夢元）」は、2023年2月10日に第9期決算を迎えたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2018年10月12日から原則として無期限です。	
運用方針	中国人民元ソブリンマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、中国本土に流通する中国人民元建ての中国のソブリン債に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産（人民元建て資産）については、原則として為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	中国人民元ソブリンマザーファンド	中国人民元建ての中国のソブリン債を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	中国人民元ソブリンマザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年2月10日および8月10日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPY		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
5期(2021年2月10日)	10,015	100	7.1	234.004	7.7	95.9	—	21,569
6期(2021年8月10日)	10,720	100	8.0	254.105	8.6	94.2	—	17,349
7期(2022年2月10日)	11,527	110	8.6	277.423	9.2	94.7	—	14,261
8期(2022年8月10日)	12,623	110	10.5	309.963	11.7	95.1	—	10,376
9期(2023年2月10日)	12,125	120	△3.0	301.941	△2.6	94.1	—	8,825

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYは、当該日前営業日の現地終値を記載しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

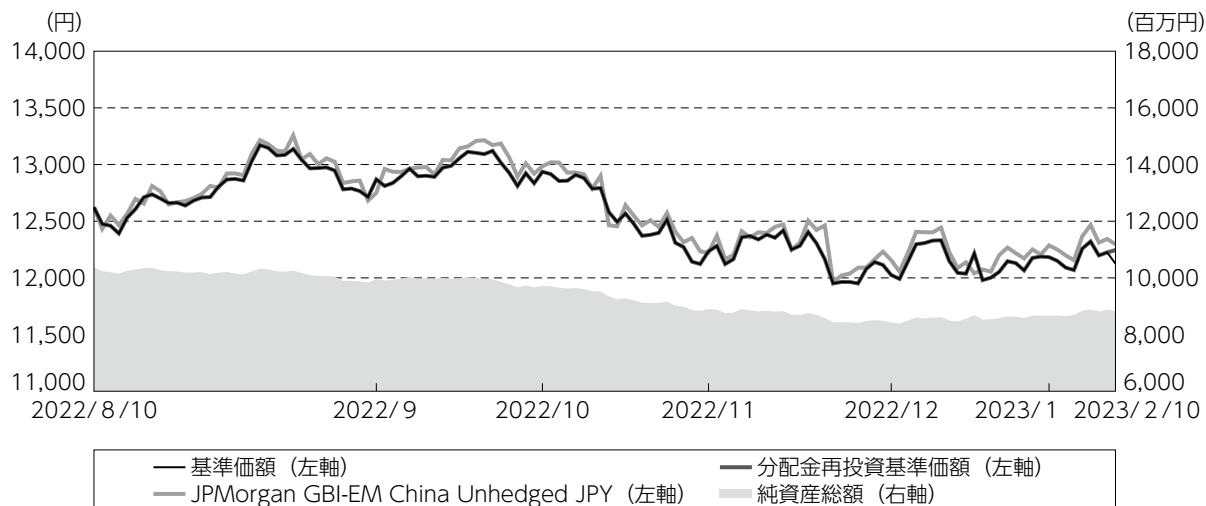
年 月 日	基準価額		JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPY		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2022年8月10日	円 12,623	% —	ポイント 309.963	% —	% 95.1	% —
8月末	12,713	0.7	314.589	1.5	95.6	—
9月末	12,869	1.9	313.085	1.0	93.1	—
10月末	12,936	2.5	318.862	2.9	94.7	—
11月末	12,235	△3.1	300.135	△3.2	95.6	—
12月末	12,025	△4.7	298.491	△3.7	95.2	—
2023年1月末	12,183	△3.5	301.697	△2.7	93.2	—
(期末) 2023年2月10日	12,245	△3.0	301.941	△2.6	94.1	—

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2022年8月11日～2023年2月10日）



期首：12,623円

期末：12,125円（既払分配金（税引前）：120円）

騰落率：△3.0%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYです。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2022年8月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「中国人民元ソブリンマザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入の獲得がプラスとなりました。

(主なマイナス要因)

- ・債券利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したことがマイナスとなりました。
- ・人民元が対円で下落したことがマイナスとなりました。

投資環境

（2022年8月11日～2023年2月10日）

中国の債券市場では、新規融資などが市場予想を大幅に下回り、不動産市場の低迷の影響が確認される中、中国人民銀行（PBOC：中央銀行）が1年物中期貸出制度（MLF）の金利などを引き下げたことを受け、債券利回りは低下（価格は上昇）する形でのスタートとなりました。その後は、5年に一度の共産党大会を控え、景気対策への期待などが利回り上昇（価格は下落）要因となる一方で、同大会以降に公表された新指導部が、続投となった習近平国家主席と関係の近いメンバーが大半となったことで、ゼロコロナ対策の長期化や、経済を含め統制を強化するとの懸念などが利回り低下要因となり、2022年10月末にかけては一進一退の展開となりました。11月には、感染対策の緩和や不動産市場の下支えなどの政策転換を受け、中国のリオープン（経済再開）期待が高まったことから債券利回りは短期間で急上昇する展開となりました。12月以降は、複数都市での感染拡大や医療ひっ迫への懸念などから債券利回りは低下する局面も見られましたが、防疫措置のさらなる大幅緩和などを受けた景気回復への期待が債券利回りの上昇圧力となり、債券利回りはおもひ合い推移となりました。この結果、当期における10年国債利回りは上昇となりました。

為替市場では、2022年10月中旬にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長がインフレ抑制に向けた断固たる姿勢を示す中、事前予想を上回る米消費者物価指数（CPI）の結果などを受け、FRBが金融政策の引き締めペースを加速させるとの見方が強まり、ドル/円の上昇に連動する形で、人民元は対円で上昇する展開となりました。10月末にかけては、政府・日銀による円買い為替介入の実施に伴いドル/円が急落した影響に加え、共産党大会以降に公表された新指導部の顔ぶれを受け、厳格な感染対策の長期化や、経済を含め統制を強化するとの懸念が高まったことなどから、人民元は対円で下値を探る動きとなりました。その後は、感染対策の大幅緩和や不動産市場の下支えなどの政策転換を受け、中国の経済再開期待などが人民元の上昇圧力となる一方で、複数都市での感染拡大や医療ひっ迫などが人民元の下落圧力となり一進一退での推移となりました。この結果、当期における人民元は対円で3%強の下落となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2022年8月11日～2023年2月10日）

<中国人民元ソブリンオープン（愛称 ^{むげん} 夢元）>

「中国人民元ソブリンマザーファンド」の受益証券の組入比率を高位で維持しました。

○中国人民元ソブリンマザーファンド

（債券組入比率）

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

（債券別投資比率）

債券通（ボンドコネクト）を通じて、人民元建ての国債、国家開発銀行債に投資しました。当期間は国債の比率を6～7割程度、国家開発銀行債の比率を2～3割程度としました。ポートフォリオ内では、長期債の比率を低下させました。

債券通（ボンドコネクト）とは…

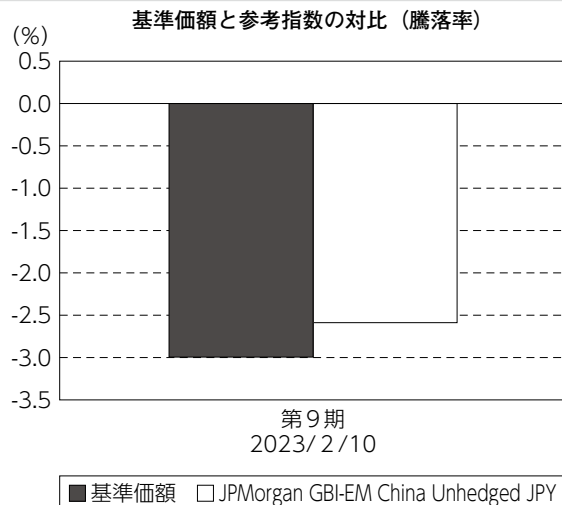
中国本土と香港間の債券相互取引制度で2017年7月にスタートしました。

海外機関投資家は、香港経由で、中国本土の銀行間債券市場での債券投資が可能となりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年8月11日～2023年2月10日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYの騰落率を0.4%下回りました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYです。

分配金

（2022年8月11日～2023年2月10日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、ファンドの収益力、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万円当たり120円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万円当たり・税引前）

項目	第9期
	2022年8月11日～ 2023年2月10日
当期分配金	120
(対基準価額比率)	0.980%
当期の収益	112
当期の収益以外	7
翌期繰越分配対象額	2,434

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境）

中国の債券市場については、中国当局による政策転換（ゼロコロナ政策の解除、不動産市場の下支えなど）や、財政支出の拡大を含む経済対策への期待は金利上昇要因となる一方で、感染再拡大への懸念や、实体经济の低迷を踏まえた住宅ローン金利の指標となるローンプライムレート（5年）などの引き下げ期待は金利低下要因として想定され、長期債利回りは現状水準を中心としたもみ合いを予想します。

為替市場については、中国当局による政策転換や、財政支出の拡大を含む経済対策への期待は人民元高圧力となることに加え、日本の高水準な貿易赤字などは円安圧力として想定されます。一方で、米国の利上げ停止への思惑はドル安圧力となり、日銀による金融政策のさらなる修正観測などは円高圧力として見込まれ、人民元は対円で下落リスクを内包しつつも、もみ合い推移を予想します。

（運用方針）

<中国人民元ソブリンオープン（愛称 ^{むげん} 夢元）>

主要な投資対象である「中国人民元ソブリンマザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持して運用する方針です。

○中国人民元ソブリンマザーファンド

運用につきましては、中国国内の景気動向や物価動向、中央銀行の金融政策スタンス等に加え、国際情勢の動向などの分析を通じ、デュレーションを機動的に調整する方針です。これにより、ポートフォリオの金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年 8 月 11 日～2023年 2 月 10 日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	79 (38) (38) (3)	0.632 (0.305) (0.305) (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	3 (2) (1) (0)	0.021 (0.014) (0.007) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	82	0.653	
期中の平均基準価額は、12,493円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

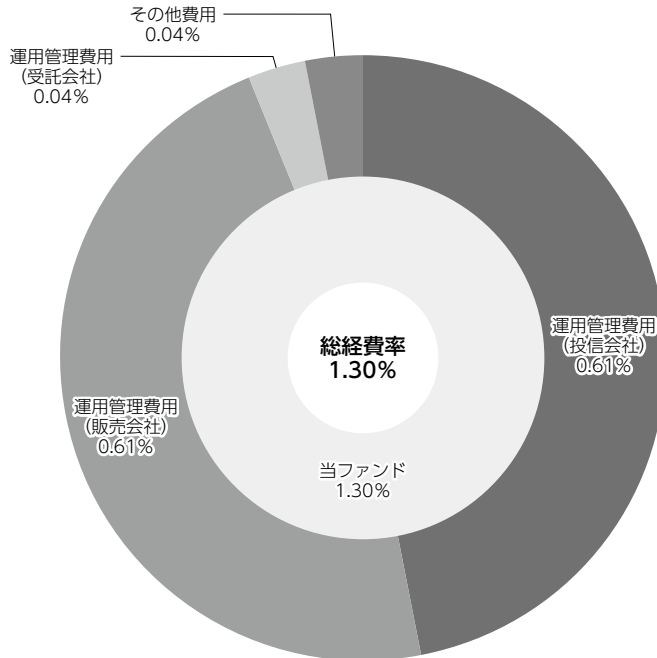
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.30%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2022年8月11日～2023年2月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
中国人民元ソブリンマザーファンド	千口 225,263	千円 314,897	千口 1,174,556	千円 1,711,612

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年8月11日～2023年2月10日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2023年2月10日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期 首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
中国人民元ソブリンマザーファンド	千口 7,107,248	千口 6,157,956	千円 8,736,908

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2023年2月10日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
中国 人 民 元 ソ ブ リ ン マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 8,736,908	% 97.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	266,750	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	9,003,658	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）中国人民元ソブリンマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（8,494,690千円）の投資信託財産総額（8,767,201千円）に対する比率は96.9%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1オフショア元=19.3776円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年2月10日現在）

項目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,003,658,018
コール・ローン等	266,749,411
中国人民元ソブリンマザーファンド(評価額)	8,736,908,607
(B) 負債	178,652,258
未払収益分配金	87,340,854
未払解約金	31,334,543
未払信託報酬	59,349,642
未払利息	339
その他未払費用	626,880
(C) 純資産総額(A－B)	8,825,005,760
元本	7,278,404,529
次期繰越損益金	1,546,601,231
(D) 受益権総口数	7,278,404,529口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,125円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,2125円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は8,220,353,225円、期中追加設定元本額は540,285,289円、期中一部解約元本額は1,482,233,985円です。

○損益の状況（2022年8月11日～2023年2月10日）

項目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 22,424
受取利息	85
支払利息	△ 22,509
(B) 有価証券売買損益	△ 196,832,323
売買益	38,935,377
売買損	△ 235,767,700
(C) 信託報酬等	△ 59,981,906
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 256,836,653
(E) 前期繰越損益金	1,523,066,508
(F) 追加信託差損益金	367,712,230
(配当等相当額)	(253,066,689)
(売買損益相当額)	(114,645,541)
(G) 計(D+E+F)	1,633,942,085
(H) 収益分配金	△ 87,340,854
次期繰越損益金(G+H)	1,546,601,231
追加信託差損益金	367,712,230
(配当等相当額)	(254,211,947)
(売買損益相当額)	(113,500,283)
分配準備積立金	1,517,490,482
繰越損益金	△ 338,601,481

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第9期
(a) 配当等収益(費用控除後)	81,764,828円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	254,211,947円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	1,523,066,508円
分配対象収益(a+b+c+d)	1,859,043,283円
分配対象収益(1万口当たり)	2,554円
分配金額	87,340,854円
分配金額(1万口当たり)	120円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	120円
支払開始日	2023年2月16日(木)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2023年2月10日現在）

<中国人民元ソブリンマザーファンド>

下記は、中国人民元ソブリンマザーファンド全体（6,179,389千口）の内容です。

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
中国 オフ ショ ア	千オフショア元 419,500	千オフショア元 430,229	千円 8,336,807	% 95.1	% —	% 55.2	% 31.5	% 8.3
合 計	419,500	430,229	8,336,807	95.1	—	55.2	31.5	8.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) ボンドコネクトを通じた中国人民元建てソブリン債への投資に際し、取引通貨はオフショア元の為替レートが適用されます。（以下同じ。）

(B) 外国（外貨建）公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期				末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
中国 オフ ショ ア		%	千オフショア元	千オフショア元	千円		
国債証券	CHINA GOVT BOND 2.89	2.89	77,500	77,547	1,502,680	2031/11/18	
	CHINA GOVT BOND 2.91	2.91	7,500	7,554	146,379	2028/10/14	
	CHINA GOVT BOND 3.12	3.12	30,000	30,569	592,355	2026/12/5	
	CHINA GOVT BOND 3.19	3.19	12,500	12,660	245,325	2024/4/11	
	CHINA GOVT BOND 3.25	3.25	20,000	20,469	396,655	2026/6/6	
	CHINA GOVT BOND 3.25	3.25	10,000	10,308	199,744	2028/11/22	
	CHINA GOVT BOND 3.27	3.27	25,000	25,885	501,589	2030/11/19	
	CHINA GOVT BOND 3.29	3.29	10,000	10,351	200,583	2029/5/23	
	CHINA GOVT BOND 3.54	3.54	30,000	31,382	608,115	2028/8/16	
	CHINA GOVT BOND 3.6	3.6	42,500	43,888	850,461	2025/9/6	
	CHINA GOVT BOND 3.72	3.72	25,000	26,832	519,939	2051/4/12	
	特殊債券 (除く金融債)	CHINA DEV BANK 2.73	2.73	15,000	15,030	291,254	2024/11/11
		CHINA DEV BANK 2.98	2.98	10,000	10,052	194,797	2024/1/8
		CHINA DEV BANK 3.34	3.34	47,000	47,713	924,572	2025/7/14
CHINA DEV BANK 3.48		3.48	15,000	15,390	298,229	2029/1/8	
CHINA DEV BANK 3.65		3.65	12,500	12,978	251,497	2029/5/21	
CHINA DEV BANK 4.04		4.04	30,000	31,615	612,626	2028/7/6	
合 計					8,336,807		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

中国人民币ソブリンマザーファンド

第4期 運用状況のご報告

決算日：2022年8月10日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として中国本土に流通する中国人民币建ての中国のソブリン債に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	中国人民币建ての中国のソブリン債を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPY		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産総額
	期騰落	中率	(参考指数)	期騰落			
(設定日) 2018年8月23日	円 10,000	% —	ポイント 211.211	% —	% —	% —	百万円 19
1期 (2019年8月13日)	9,795	△ 2.1	206.634	△ 2.2	96.0	—	59,633
2期 (2020年8月11日)	10,213	4.3	217.191	5.1	94.0	—	22,567
3期 (2021年8月10日)	11,969	17.2	254.105	17.0	94.4	—	17,344
4期 (2022年8月10日)	14,539	21.5	309.963	22.0	95.5	—	10,364

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYは、当該日前営業日の現地終値を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

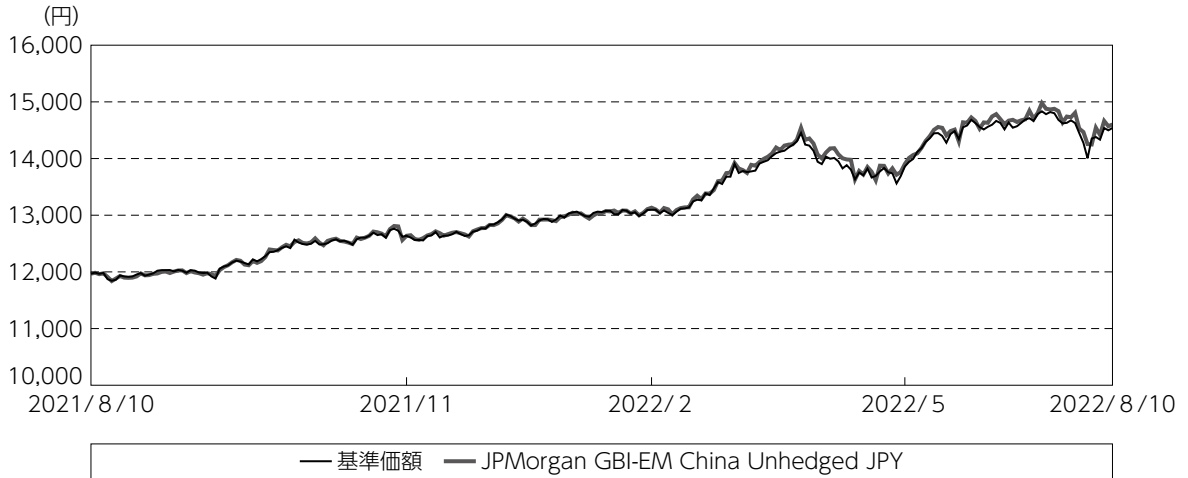
年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPY		債券組入率 比	債券先物率 比
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期 首) 2021年8月10日	円 11,969	% —	ポイント 254.105	% —	% 94.4	% —
8月末	11,974	0.0	254.026	△ 0.0	93.1	—
9月末	12,198	1.9	259.240	2.0	94.1	—
10月末	12,487	4.3	264.734	4.2	95.2	—
11月末	12,637	5.6	268.289	5.6	94.0	—
12月末	12,876	7.6	272.951	7.4	95.7	—
2022年1月末	13,063	9.1	276.577	8.8	92.7	—
2月末	13,095	9.4	278.808	9.7	93.7	—
3月末	13,780	15.1	292.885	15.3	93.2	—
4月末	14,033	17.2	299.461	17.8	94.2	—
5月末	13,859	15.8	295.173	16.2	93.9	—
6月末	14,664	22.5	313.855	23.5	93.5	—
7月末	14,448	20.7	308.439	21.4	94.9	—
(期 末) 2022年8月10日	14,539	21.5	309.963	22.0	95.5	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年8月11日～2022年8月10日)



(注) 参考指数は、JPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYです。

(注) 参考指数は、期首(2021年8月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスとなりました。
- ・保有債券からの利息収入の獲得がプラスとなりました。
- ・人民元が対円で上昇したことがプラスとなりました。

(主なマイナス要因)

- ・特にありません。

投資環境

(2021年8月11日～2022年8月10日)

中国の債券市場では、中国当局による規制強化の動きへの懸念と、景気刺激策の期待などからもみ合いでのスタートとなりました。2021年10月に入ると、預金準備率の引き下げ期待が剥落したことなどを受け、債券利回りが上昇（価格は下落）する場面も見られましたが、12月から2022年1月にかけて、中国人民銀行（中央銀行）が主要金利を軒並み引き下げ、金融緩和姿勢を鮮明にしたことなどをを受けて、債券利回りは大幅な低下（価格は上昇）となりました。2月に入ると、全国人民代表大会を控え財政出動への期待などから、それまでの利回り低下幅を縮小する展開となりましたが、その後は、上海などの都市封鎖（ロックダウン）や第2四半期の実質国内総生産（GDP）成長率が市場予想を下回った一方で、ロックダウン解除やさらなる経済対策への期待などを受け一進一退での推移となりました。

為替市場では、中国当局による規制強化の動きへの懸念と、景気刺激策の期待などからもみ合いでのスタートとなりました。資源高に伴う日本の貿易収支の悪化懸念や、各国中銀と日銀との金融政策差異などを背景に円安が進行したことなどから、2022年4月中旬にかけて人民币は対円で大幅上昇する展開となりました。複数都市でのロックダウンに加え、5月中旬にかけては、米国の長期金利が約12年ぶりに中国の長期金利を上回ったことなどを受け、人民币が対ドルで大幅に調整したことに連動する形で、対円でもそれまでの上昇幅を縮小する展開となりました。その後は、日銀が金融緩和策を維持したことや中国政府によるさらなる景気刺激策に対する期待と、第2四半期のGDP成長率が市場予想を下回り、グローバル経済の鈍化懸念などをを受けて一進一退での推移となりました。この結果、通期では、人民币は対円で大幅上昇となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年8月11日～2022年8月10日)

（債券組入比率）

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

（債券別投資比率）

債券通（ボンドコネクト）を通じて、人民币建ての国債、国家開発銀行債に投資しました。当期間は国債の比率を6～7割程度、国家開発銀行債の比率を2～3割程度としました。ポートフォリオ内では、長期債の比率を高位で維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年8月11日～2022年8月10日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としてJPMorgan GBI-EM China Unhedged JPYの騰落率を0.5%下回りました。

今後の運用方針

(投資環境)

中国の債券市場については、10月16日に開催が予定される5年に1度の共産党大会を控え、インフラ投資や消費刺激策など政府主導でのさらなる景気刺激策への期待は、利回り上昇要因として懸念されま
す。一方で、中国人民銀行が緩和的な金融政策スタンスで経済を下支えする姿勢を鮮明にしていること
に加え、厳格な感染対策の継続、一部の不動産開発業者の資金繰り懸念などを背景とした不動産セク
ターへの投資抑制は、経済の下押し要因となり金利低下圧力として想定されます。このため、債券利回
りは現状水準を中心としたもみ合いの展開を予想します。

為替市場については、日本の貿易収支の悪化や、日銀が大規模な金融緩和策の維持姿勢を示している
ことに加え、中国当局によるさらなる各種景気刺激策への期待は、人民元高/円安圧力として想定され
ます。一方で、中国を含むグローバル経済の鈍化や感染再拡大への懸念などは人民元安/円高要因とし
て想定され、結果として人民元は、対円では一進一退の展開を予想します。

(運用方針)

運用につきましては、債券利回りが現状水準を中心としたもみ合いとなる展開を見込み、ファンドの
金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションを機動的に調整する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年8月11日～2022年8月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 4 (4)	% 0.029 (0.027)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他 1)	(0)	(0.002)	その他1は、中国の債券取引に係る費用
(そ の 他 2)	(0)	(0.000)	その他2は、金銭信託支払手数料等
合 計	4	0.029	
期中の平均基準価額は、13,259円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年8月11日～2022年8月10日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
外 国	中国オフショア	千オフショア元	千オフショア元
		国債証券	611,513
		特殊債券	276,035 (70,000)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) ボンドコネクトを通じた中国人民币建てソブリン債への投資に際し、取引通貨はオフショア元の為替レートが適用されます。（以下同じ。）

○利害関係人との取引状況等

(2021年8月11日～2022年8月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年8月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
中国 オフ ショア	千オフショア元 478,000	千オフショア元 494,657	千円 9,899,084	% 95.5	% —	% 57.8	% 31.8	% 5.9
合 計	478,000	494,657	9,899,084	95.5	—	57.8	31.8	5.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
中国 オフ ショア		%	千オフショア元	千オフショア元	千円	
国債証券	CHINA GOVT BOND 2.84	2.84	10,000	10,129	202,713	2024/4/8
	CHINA GOVT BOND 2.89	2.89	85,000	85,714	1,715,308	2031/11/18
	CHINA GOVT BOND 2.91	2.91	10,000	10,141	202,943	2028/10/14
	CHINA GOVT BOND 3.12	3.12	30,000	30,828	616,929	2026/12/5
	CHINA GOVT BOND 3.19	3.19	15,000	15,296	306,114	2024/4/11
	CHINA GOVT BOND 3.25	3.25	45,000	46,398	928,528	2026/6/6
	CHINA GOVT BOND 3.25	3.25	10,000	10,344	207,012	2028/11/22
	CHINA GOVT BOND 3.27	3.27	25,000	25,936	519,036	2030/11/19
	CHINA GOVT BOND 3.29	3.29	5,000	5,088	101,829	2023/10/18
	CHINA GOVT BOND 3.29	3.29	10,000	10,387	207,870	2029/5/23
	CHINA GOVT BOND 3.54	3.54	30,000	31,625	632,881	2028/8/16
	CHINA GOVT BOND 3.6	3.6	55,000	57,276	1,146,216	2025/9/6
	CHINA GOVT BOND 3.72	3.72	33,000	35,554	711,510	2051/4/12
	特殊債券 (除く金融債)	CHINA DEV BANK 2.73	2.73	30,000	30,260	605,565
CHINA DEV BANK 3.48		3.48	25,000	25,867	517,655	2029/1/8
CHINA DEV BANK 3.65		3.65	5,000	5,231	104,688	2029/5/21
CHINA DEV BANK 4.04		4.04	55,000	58,578	1,172,279	2028/7/6
合 計					9,899,084	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年8月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 9,899,084	% 95.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	465,515	4.5
投 資 信 託 財 産 総 額	10,364,599	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(10,050,635千円)の投資信託財産総額(10,364,599千円)に対する比率は97.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1オプショア元=20.012円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年8月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 10,364,599,254
コール・ローン等	334,736,075
公社債(評価額)	9,899,084,889
未収利息	114,466,879
前払費用	16,311,411
(B) 負債	3,070
未払利息	115
その他未払費用	2,955
(C) 純資産総額(A-B)	10,364,596,184
元本	7,128,993,363
次期繰越損益金	3,235,602,821
(D) 受益権総口数	7,128,993,363口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,539円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.4539円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は14,490,735,076円、期中追加設定元本額は575,425円、期中一部解約元本額は7,362,317,138円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

中国人民元ソブリンオープン (愛称 夢元)	7,107,248,670円
中国人民元ソブリンオープン (元高米ドル安戦略) (愛称 夢元ドル戦略)	21,744,693円

○損益の状況 (2021年8月11日~2022年8月10日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	円 468,347,230
受取利息	468,460,195
支払利息	△ 112,965
(B) 有価証券売買損益	2,213,365,655
売買益	2,247,995,795
売買損	△ 34,630,140
(C) その他費用等	△ 4,097,494
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,677,615,391
(E) 前期繰越損益金	2,853,802,134
(F) 追加信託差損益金	230,400
(G) 解約差損益金	△2,296,045,104
(H) 計(D+E+F+G)	3,235,602,821
次期繰越損益金(H)	3,235,602,821

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。